



# 環農水研・食品技術ニュース

vol. 31

## 操作は簡単！短時間で測定できます。 簡易分析器による栄養成分測定の手順を紹介します。

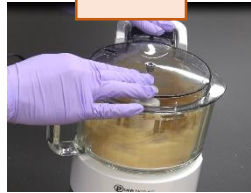
環農水研の「簡易分析器による栄養成分分析制度」では、食品の「熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量」を推定できる機器をご利用いただけます。今回は、例としてイチゴジャムパンを測定した時の手順をご紹介します。

### ランプの暖気



カロリーアンサーの電源を入れ、30分間ランプの暖気運転をします。

### 粉碎



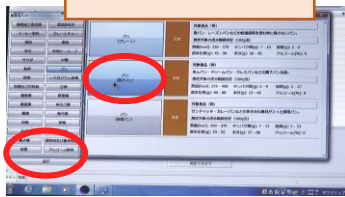
測定サンプルをフードプロセッサーで粉碎します。

### 充填



均一に粉碎されたサンプルを反射測定用のケースに充填します。ガラスとサンプルが密着し浮きがない状態にします。

### 測定条件入力



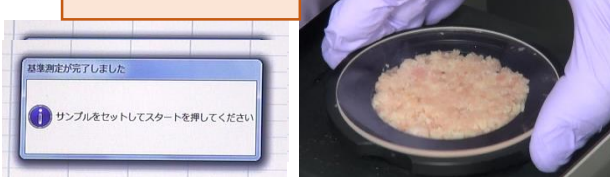
ランプの暖気が終わったら測定画面になります。左下の「選択」をクリックします。「パン」を選択します。パンモードの中の「菓子パン」を選択します。

### 基準セルの測定



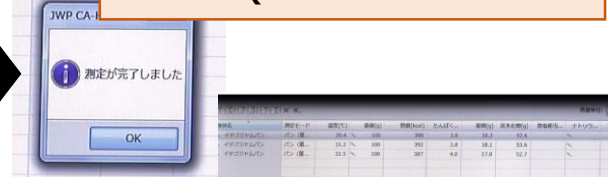
サンプル名を記入します。基準セルを測定室にセットし、扉を閉めスタートボタンを押し、基準測定を開始します。

### 検体の測定



基準測定が終了したので、サンプルを測定を行います。測定室の基準セルを取り出しサンプルセルをセットします。

### 測定完了(1サンプル約10分)



測定が終了しました。「OK」をクリックします。画面に測定結果が表示されます。【基準測定】→【サンプル測定】を三回繰り返し測定値の平均値がサンプルの栄養成分測定値となります。

- ・環農水研の加工機器や分析機器を用いた試作や試験研究などをご依頼いただけます。詳細は、右記の、環農水研ホームページをご覧ください。
- ・お問合せは、食と農の研究部 **食品グループ (072-979-7063)** まで。

#### <技術支援制度詳細>

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/nourin/shien/openlabo/>



環境農林水産総合研究所 技術支援制度

検索